

文部科学副大臣

藤井基之様

国の施策等に関する
提案・要望書

(平成27年1月)

鳥取県

学校施設の耐震化の促進及び防災機能の向上について

《提案・要望の内容》

○学校設置者が整備計画どおりにすべての耐震化事業（天井等の非構造部材対策を含む）を実施することができるよう、十分な予算を確保するとともに、実情に沿った補助単価とするなど耐震化補助事業の充実・改善を図ること。

【公立学校施設の耐震補強・改築に係る耐震化補助事業の拡充】

耐震補強・改築の国庫補助率を、Is値に関わらず2/3へ引き上げること。

*現行…耐震補強 Is値0.3未満：2/3、Is値0.3以上：1/2

耐震改築 Is値0.3未満：1/2、Is値0.3以上：1/3

【私立学校施設整備費補助金及び私立幼稚園施設整備費補助金の拡充】

耐震補強・改築の国庫補助率を公立学校並みとされたい。

・耐震補強については、補助率を2/3へ引上げ。

*現行…Is値0.3未満：1/2、Is値0.3～0.7：1/3

・耐震改築については、補助率を1/2とするとともに、補助対象は構造耐震指標(Is値)だけでなく、耐力度点数のように築年数等も加えた制度とすること。

○学校施設の避難場所としての機能を高めるため、防災機能強化のための補助制度を充実させるとともに、現在、屋外防災施設の整備のみが対象となっている高等学校について、対象工事の拡充を行うこと。

○屋内運動場等の吊り天井など非構造部材の耐震対策について、学校設置者による点検がスムーズに実施できるよう、明確な基準及び点検方法を示すこと。

○地方公共団体の負担を軽減するため、公立学校施設の耐震・防災対策に関する地方財政措置を継続すること。

○公立学校施設の耐震化事業については、工期の遅れや学校の統廃合に係る調整に伴い、やむを得ず平成28年度以降に完了がずれ込む場合も見込まれることから、国庫補助率の嵩上げ措置を平成28年度以降も延長すること。

<参考>

【鳥取県内学校の耐震化率】

区 分	公立小中学校 (H26.4.1現在)	県立高等学校 (H26.4.1現在)	私立学校(H26.4.1現在)	
			高等学校	幼稚園
鳥取県	87.0% (635棟/730棟)	92.7% (203棟/219棟)	70.7% (41棟/58棟)	70.7% (29棟/41棟)
全 国	92.5%	90.0%	77.9%	81.0%

ジオパーク活動の取組への支援について

《提案・要望の内容》

- ユネスコの正式プログラム化を積極的に推進すること。
- 国内におけるジオパーク活動を推進するため、国において一体的な推進体制を整えること。
 - 〔・教育、観光、産業振興、環境などのジオパークに関する幅広い行政分野を統括する省庁がなく、国としての一体的な推進体制が望まれている。〕
- 学校教育や社会教育でのジオパーク活用を進めるとともに、各地のジオパークと連携してジオパーク自体の普及啓発と国内加盟地域の国内外へのPRを行うこと。
 - 〔・国内外において、ジオパークの知名度はまだ低く、国レベルでのPRや、学校教育でのジオパークの活用（教科書への掲載等）などが重要。〕

《山陰海岸ジオパーク》

- テーマ：日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし
- ・H22（2010）10月 世界ジオパークネットワークに加盟
- ・H26（2014）9月 世界ジオパークネットワークに加盟再認定



(鳥取砂丘)



(浦富海岸)



《主な取組》

○保護保全活動

他のジオパークに先駆け、山陰海岸ジオパーク保護保全管理計画を策定し、ジオサイト（見どころ）の点検調査などを実施

○調査研究活動

研究者や学生などの学術研究や調査を支援

○ガイドの育成

ジオガイドの資質向上と連携を図るため、研修会や交流会を開催

○ジオツーリズムの推進

モデルコースの設定、モニタツアーの実施、旅行会社へのツアー造成支援など

○普及啓発・情報発信

エリア内でのウォーキング大会・スタンプラリー・写真コンクール、首都圏・京阪神でのPRキャンペーン、媒体を使った全国PRなど

○国際会議の開催

平成27年9月に「第4回アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウム」を開催予定。

地域の文化芸術の振興の取組支援について

《提案・要望の内容》

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムは、日本各地の伝統文化や芸術活動のすばらしさを国内外の方々に知っていただく絶好の機会であるとともに、外国からの来訪客を地域に引き込むための誘客素材となり得ることから、地方が行う取組を文化プログラムに位置づけるとともに、積極的に支援すること。
 - ・ 地域が取り組む国際的芸術祭の開催、アーティストインレジデンスの活用、文化芸術を活用した外国人観光客の誘致活動、これらを広域的に実施する取組に対して積極的な支援を行うこと。
 - ・ 障がい者の芸術文化振興は、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与するとともに、共生社会モデルの創発に繋がるものであり、全国的な取組となるよう積極的な支援を行うこと
 - ・ まんが・アニメをテーマとしたイベントの実施や国内外へのまんが・アニメを活用した情報発信、関連分野の人材育成のほか、コンテンツ産業の振興など、クールジャパン施策に連動して地域が行うソフトパワーを活用した取組に対して支援を行うこと。

平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化芸術グローバル化推進事業）へ申請中
※ アーティストによる滞在創作活動を地域活性化や移住につなげる「アーティストリゾートとっとり」構想の推進、障がい者と健常者が共に創る劇団事業、まんがを活用したソフトパワー事業など（申請額：72百万円）
※ 関西広域連合においても、関西文化の魅力発信事業（国際シンポジウム等）を申請中

<参考>

○ 鳥取県における平成26年度の取組

「鳥取藝住祭2014」（アーティストリゾートとっとり芸術祭）

- (1) 期 間 平成26年9月5日から11月30日までの約3か月間
- (2) 概 要 県内8地域で国内外のアーティストに滞在してもらい、地域住民と連携したアートイベントを展開。アーティストの長期滞在や移住に繋がったり、地域間交流や拠点施設の整備が進むなど、アートによる地域活性化の効果があつた。
(イベント来客数のべ約6,000人)

【海外劇団参加による演劇祭】



【鳥取芸術学校での鼎談】



【地域でのアニメづくり活動】



「あいサポート・アートとっとりフェスタ」(第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会)

- (1) 期 間 平成26年7月12日から11月3日までの約4か月間
- (2) 概 要 「障がいを知り、共に生きる」を大会テーマに掲げ、全国大会では初となる秋篠宮妃殿下、佳子内親王殿下の御臨席を賜り、音楽、ダンス、郷土芸能などの舞台芸術を発表するとともに、県内外から多くの美術作品が出展された。各会場には、障がいの有無に関わらず多くの来場者があり、共生社会実現のための道が開かれた。(イベント来客数 のべ約43,000人)

【障がいのある人とない人で創りあげた「じゆう劇場」】



【米子養護学校と日野高校による「荒神神楽」】



【国際公募展「国際障がい者アート展」】



鳥取空港の「鳥取砂丘コナン空港」愛称化、鬼太郎街道の整備

米子鬼太郎空港に続き、鳥取空港に世界的に有名なキャラクター「名探偵コナン」の愛称をつけ、「まんが王国とっとり」を世界に発信するとともに海外インバウンドを促進することとした。

県道米子境港線では、「ゲゲゲの鬼太郎」の案内看板を設置し、愛称を「鬼太郎街道」として、円滑に観光客を誘導することとした。

【鳥取砂丘コナン空港】



【鬼太郎街道】

